

特別展 大森貝塚発掘 130 周年・区政 60 周年記念事業  
「日本考古学は品川から始まった—大森貝塚と東京の貝塚—」

期 間 平成 19 年 10 月 14 日（日）～11 月 25 日（日） 37 日間  
会 場 1 階ロビー 第二展示室 小講堂 2 階ロビー  
入館者数 3,502 名

〔開催趣旨〕

大森貝塚は日本考古学発祥の地と称される学史上きわめて重要な遺跡であるが、その所在地が品川区大井であることは、あまり周知されていない。平成 19 年に発掘 130 周年を迎えることを機会に、再び大森貝塚発掘を顕彰し、日本考古学の幕開けが品川の地であったことを紹介するとともに、東京の貝塚調査を総括する目的において特別展を開催した。

〔展示概要〕

明治 10 年（1877）10 月、アメリカの動物学者エドワード・S・モースによって品川区大井鹿島谷に所在する大森貝塚の発掘が行われた。この調査は日本で初めての科学的な発掘調査であり、近代科学として日本考古学はこの品川の地から始まったといえる。

特別展では発掘 130 周年を記念し、出土品や関連資料を通してモースの調査を再び顕彰し、その後の考古学史上重要な東京の貝塚調査を紹介する。また、これまでに発掘された東京の貝塚を総括し、貝塚出土の優品を一堂に会し縄文時代の生活を探る。

〔展示内容〕

第一章 日本考古学の幕開け —モースの大森貝塚発掘—

出土品、報告書、発掘の過程や影響を物語る公文書、発掘に関わった人々の紹介等を通して、日本考古学発祥と称されるモースの発掘を再び顕彰する。後に発掘場所同定に混乱をもたらした顕彰碑建立の過程や、その後の発掘調査による新たな成果を報告する。

- 1 貝塚発見から発掘へ
- 2 大森貝塚出土品：東京大学総合研究博物館所蔵・重要文化財
- 3 公文書が語る大森貝塚発掘：発掘交渉、発掘場所を示す公図、明治天皇叡覧
- 4 大森貝塚発掘を巡る人々  
松村仁三・佐々木忠次郎・飯島魁・松浦佐用彦・シーボルト・ナウマン
- 5 モース以後の大森貝塚  
江見水蔭の発掘、南方熊楠の採集、品川区による発掘成果
- 6 「大森貝塚」「大森貝墟」2つの碑を巡って

## 第二章 貝塚発掘時代 遺物収集家と東京人類学会の活動

明治以降の考古学研究を進展させる礎となった東京の貝塚調査を取り上げ、モース以降の貝塚調査の学史的な位置付けを試みる。

- 1 偶然の発見から調査へ 関保之介による延命院貝塚の調査
- 2 文人江見水蔭による「蛮勇」発掘
- 3 東京人類学会の大きな足跡
  - ①坪井正五郎：西ヶ原貝塚、向ヶ丘貝塚と弥生土器、動坂遺跡とコロボックル論争
  - ②鳥居龍蔵：「貝塚七ヵ所ノ記」、中里貝塚、九段坂下貝塚〈貝塚碑〉

## 第三章 東京の貝塚から探る縄文時代

東京の貝塚出土の優品を一堂に会し、縄文時代の生活を紹介する。

- 1 縄文人の道具
  - ①貝塚出土の土器・石器
  - ②骨や角を使った道具（骨角器や錘）
  - ③装身具
- 2 貝・骨（動物遺存体）  
貝層、貝の種類・年代と海岸線
- 3 祭祀 ー祭りの場としての貝塚ー  
人骨、土偶、犬骨など



## 第四章 東京の貝塚遺跡 パネル展示

これまでに発掘された東京の主要貝塚をパネルで紹介する。

### 〔関連事業〕

#### オープニング記念「縄文の笛コンサート」

演奏者：縄文笛 毅（柴田 毅）

日時：10月14日（日）

プレ演奏 午前11時30分～40分

庭園 参加者30名

本演奏 午後2時～午後3時

書院 参加者105名

#### 特別展記念講演会 「日本考古学と大森貝塚」

講師：坂詰 秀一（品川歴史館館長）

日時：10月28日（日）午後2時～午後3時30分

会場：講堂

参加者：97名



**大森貝塚発掘 130 周年記念ツアー（共催：しながわ観光協会）**

日 時：11 月 3 日（祝） 午後 1 時～午後 4 時

参加者：96 名

<当日の行程>

大森貝塚探検（学芸員の引率・解説）～大森貝塚碑（大田区）～大森貝塚碑（品川区）  
～大森貝塚遺跡庭園案内～特別展観覧（品川歴史館長による展示見所紹介、学芸員による展示解説）～茶会体験

**お茶を楽しむ会（協力：品川区茶道華道文化協会）**

日 時：11 月 3 日（祝） ①午前 10 時～正午 ②午後 2 時～午後 4 時

会 場：書院

参加者：98 名

**特別展記念シンポジウム 「東京の貝塚を考える」**

日 時：11 月 11 日（日） 午後 1 時～午後 5 時

会 場：講堂

参加者：78 名

講演 東京における貝塚調査のあゆみ

講師 坂詰 秀一（品川歴史館館長）

報告 大森貝塚の調査結果

講師 松原 典明（立正大学講師）

ディスカッション 貝塚研究の新視点－最新の研究が明らかにする大森貝塚の実像－

司会進行 阿部 芳郎（明治大学教授）

パネリスト 安孫子 昭二（元東京都教育庁学芸員）

秋山 邦雄（歴史環境計画研究所所長）

岡崎 完樹（都教育庁計画課埋蔵文化財係長・学芸員）

中島 広顕（北区教育委員会学芸員）

樋泉 岳二（早稲田大学講師）

**学芸員フロアレクチャー**

日 時：11 月 17 日（土） 午後 2 時

〔販売物、発行図書〕

- 特別展図録『日本考古学は品川から始まった－大森貝塚と東京の貝塚－』

販売価格 1,000 円（A4 120 頁）

- 大森貝塚クッキー（協力：社会福祉法人福栄会・かもめ工房） 販売価格 200 円

# 特別展「日本考古学は品川から始まった—大森貝塚と東京の貝塚—」

## 主な展示資料

■はパネル展示（出展文献は図録所収の参考文献一覧参照）  
指定文化財表記 ◎：国指定 ○：東京都指定 □：市区町指定

資料名	年代	所蔵先・出典	指定／出土遺跡
<b>序 大森貝塚発掘以前、日本人の「貝塚」観</b>			
『常陸風土記』	和銅7年(713)頃成立、 天保10(1839)年刊行本	国立国会図書館蔵	
『再校江戸砂子』	享保17年(1732)成立、 明和9年(1772)刊行本	当館蔵	
■中里貝塚想定図		文献815より	
『新編武蔵風土記稿』巻138	天保元年(1830)成立、 明治17年(1884)刊行本	東京都公文書館蔵	
<b>I 日本考古学、品川に始まる —大森貝塚発掘—</b>			
<b>1 大森貝塚の発見、そして発掘へ</b>			
■エドワード・S・モース肖像	明治11年(1878)	東京大学総合研究博物館蔵	
トウキョウ シナガワテツダウ ジョウキハツ シャノツ 歌川広重(三代)	明治6年(1873)	当館蔵	
双頭レール	明治3年(1870)	当館蔵	
大森貝塚周辺地形復元模型		当館蔵	
■予備調査採集品のスケッチ		“Japan Day by Day”より	
■本調査採集品のスケッチ		“Japan Day by Day”より	
発掘風景復元模型		大田区立郷土博物館蔵	
■10月9日帰路		“Japan Day by Day”より	
■大森貝塚出土品の集合写真	明治10年(1877)頃	東京大学総合研究博物館蔵	
“Shell Mounds of Omori”	明治12年(1879)	当館蔵	
『大森介墟古物編』	明治12年(1879)	当館蔵	
“Fresh water shell mounds of the St.John's River Florida”	1875年	国立国会図書館蔵	
■報告書図版		“Shell Mounds of Omori”より	
<b>2. 重要文化財・大森貝塚出土品</b>			
深鉢形土器	縄文時代後期(加曾利B式)	東京大学総合研究博物館蔵	◎/品川区大森貝塚
図版原図 PLATE I-1		東京大学総合研究博物館蔵	
深鉢形土器	縄文時代後期(加曾利B式)	東京大学総合研究博物館蔵	◎/品川区大森貝塚
図版原図 PLATE I-4		東京大学総合研究博物館蔵	
吊手形土器	縄文時代後期(加曾利B式)	東京大学総合研究博物館蔵	◎/品川区大森貝塚
図版原図 PLATE I-5		東京大学総合研究博物館蔵	
深鉢形土器	縄文時代後期(加曾利B式)	東京大学総合研究博物館蔵	◎/品川区大森貝塚
図版原図 PLATE I-9		東京大学総合研究博物館蔵	
■実測の痕跡		文献624より	
浅鉢形土器	縄文時代後期(加曾利B式)	東京大学総合研究博物館蔵	◎/品川区大森貝塚
図版原図 PLATE II-11		東京大学総合研究博物館蔵	
注口形土器	縄文時代後期	東京大学総合研究博物館蔵	◎/品川区大森貝塚
図版原図 PLATE X-5		東京大学総合研究博物館蔵	
土版	縄文時代晩期	東京大学総合研究博物館蔵	◎/品川区大森貝塚
図版原図 PLATE XV-3		東京大学総合研究博物館蔵	
打製石斧	縄文時代後期	東京大学総合研究博物館蔵	◎/品川区大森貝塚
図版原図 PLATE XV II-1		東京大学総合研究博物館蔵	
<b>3. 公文書が語る大森貝塚発掘</b>			
『明治十年稟議録・乙』	明治10年(1877)	東京都公文書館蔵	○
『明治十一年往復録・第一類諸局』	明治11年(1878)	東京都公文書館蔵	○
■『公文録 明治十年第九十八巻』	明治10年(1877)	国立公文書館蔵	◎

『東京大学法理文学部第六年報』	明治 10～11 年 (1877～78)	国立国会図書館蔵	
■東京大学からモースへ贈られた感謝状	明治 12 年 (1879)	文献 827 より	
4. 大森貝塚発掘を巡る人々			
■エドワード・S・モース肖像	1874 年	東京大学総合研究博物館蔵	
ミドリシャミセンガイ標本	現代	当館蔵	
“On the Systematic Position of the Brachiopoda”	1873 年	当館蔵	
“Dolmens in Japan”	1880 年	当館蔵	
“Japanese Homes and Their Surroundings”	1886 年	当館蔵	
“On the Older Forms Terra-Cotta Roofing Tiles”	1892 年	当館蔵	
“Catalogue of Japanese Pottery”	1901 年	当館蔵	
“Japan Day by Day”	1917 年	当館蔵	
■松村任三肖像		『学術の日本』より	
『日本植物名彙』	明治 17 年 (1884)	高萩市歴史民俗資料館蔵	<input type="checkbox"/>
松村任三日記	明治 10 年 (1877)	高萩市歴史民俗資料館蔵	<input type="checkbox"/>
■“Japan Day by Day” に見る江ノ島臨海実験所		“Japan Day by Day” より	
■実験所が開設した頃の江ノ島	明治 10 年 (1877)	東京大学総合研究博物館蔵	
■松浦佐用彦肖像	明治 10 年 (1877)	東京大学総合研究博物館蔵	
■松浦佐用彦墓標	平成 19 年 (2007) 9 月撮影		
松浦佐用彦墓誌拓本		当館蔵	
■佐々木忠次郎肖像		『動物学雑誌』51 号 (日本動物学会) より / 美浦村教育委員会提供	
『新編養蚕教科書』	明治 38 年 (1905)	国立国会図書館蔵	
■飯島魁肖像	明治 10 年 (1877)	東京大学総合研究博物館蔵	
陸平貝塚出土 鉢形土器	縄文時代後期 (堀之内式)	東京大学総合研究博物館蔵 上野則宏 撮影	茨城県陸平貝塚
陸平貝塚出土 深鉢形土器	縄文時代中期 (加曾利 E 式)	東京大学総合研究博物館蔵 上野則宏 撮影	茨城県陸平貝塚
“Okadaira Shell Mound at Hitachi”	明治 16 年 (1883)	斎藤忠氏蔵	
■陸平貝塚全景		美浦村教育委員会提供	
■陸平貝塚の近年の発掘調査		美浦村教育委員会提供	
■エドモンド・ナウマン肖像	1871 年	糸魚川市教育委員会提供	
■ハインリヒ・フォン・シーボルト肖像		文献 804 より	
『考古説略』	明治 12 年 (1879)	坂詰秀一氏蔵	
■ジョン・ミルン肖像		トネ・ミルン『女の海溝』より	
II その後の大森貝塚 —調査と顕彰の歩み—			
1. 明治 18 年 (1885)、南方熊楠が資料採集に訪れる			
■南方熊楠肖像	明治 24 年 (1891)	南方熊楠記念館提供	
南方熊楠日記	明治 18 年 (1885)	南方熊楠顕彰館 (田辺市) 蔵	
南方熊楠が採集した大森貝塚の土器・骨片	明治 18 年 (1885) 採集	南方熊楠記念館蔵	品川区大森貝塚
2. 明治 41 年 (1908)、江見水蔭の発掘			
江見水蔭著『探検実記 地中の秘密』	明治 42 年 (1909)	当館蔵	
■明治 40 年前後の周辺地籍図	明治 40 年 (1907) 頃	当館蔵	
■大森貝塚の土偶	縄文時代後期	東京国立博物館提供	品川区大森貝塚
3. 昭和 4・5 (1929・30)、二つの記念碑の建立			
『人類学雑誌』第 41 巻第 2 号	大正 15 年 (1926)	当館蔵	
■建碑当初の大森貝塚碑	昭和 4 年 (1929)	『史前学雑誌』第 2 巻 1 号	
■本山彦一肖像		『松蔭本山彦一翁』より	
記念碑竣工案内状	昭和 4 年 (1929)	東京大学総合研究博物館蔵	
大森貝塚建碑記念文集	昭和 4 年 (1929)	『史前学雑誌』第 2 巻 1 号	
■建碑当時確認された貝層		文献 184 より	
■大森貝塚碑除幕式	昭和 4 年 (1929)	文献 566 より	
■大森貝塚碑	昭和 4 年 (1929)	東京大学総合研究博物館蔵	
■現在の大森貝塚碑	平成 19 年 (2007) 9 月撮影		
■佐々木忠次郎肖像		東京大学総合研究博物館蔵	
「モールス先生発掘の大森貝塚の位置」	大正 15 年 (1926)	『人類学雑誌』第 41 巻 4 号	

■建碑当初の大森貝墟碑	昭和5年(1930)	東京大学総合研究博物館蔵	
■臼井邸の二本松と史蹟指定の標示杭	昭和4年(1929)	文献563より	
『大森貝墟の由来』	昭和4年(1929)	斎藤忠氏蔵	
■現在の大森貝墟碑	平成19年9月撮影		
松岡巖(甲野勇)「大森介墟の分裂」	昭和10年(1935)	『ドルメン』4巻6号	
■甲野勇肖像	昭和初期	阿部芳郎氏蔵	
「大森貝塚」周辺景観の移り変わり			
4. 昭和16年(1941)、大山柏(慶應義塾大学)による発掘			
■調査地点模式図		文献626より	
■殿村邸敷地	昭和7年(1932)	『大東京編入地区明細図』・当館蔵	
■殿村邸の建物配置	昭和13年(1938)	『火災保険地図』・当館蔵	
大森貝塚発掘風景写真(①～⑮)	昭和16年(1941)	殿村茂公氏蔵	
■慶應義塾大学旧蔵の大森貝塚出土土器写真		阿部芳郎氏蔵	
■大森貝塚出土の骨角器		阿部芳郎氏蔵	
出土土器拓本		文献746より	
東京湾の溪谷と貝塚分布		文献228より	
折本貝塚(横浜市)の発掘調査	昭和2年(1927)	阿部芳郎氏蔵	
発掘風景(千葉県野田市清水公園貝塚)	昭和初期	阿部芳郎氏蔵	
研究所で使用していた発掘・測量道具	昭和初期	阿部芳郎氏蔵	
5. 昭和40～50年代、「大森貝墟碑」を中心とした保存・顕彰活動			
保存運動の端緒となった小冊子『大森貝塚』①～⑦と新聞報道	昭和40年(1965)	大田区立郷土博物館蔵	
大森貝塚記念公園ならびに記念館(案)	昭和40年(1965)	大田区立郷土博物館蔵	
大森貝塚保存会の出版物		大田区立郷土博物館蔵	
6. 昭和59年(1984)、品川区による第1次確認調査 大森貝塚の再発見			
■大森貝塚発掘平面図①		文献746より作成	品川区大森貝塚
黒曜石製鏃とイノシシ牙製鏃	縄文時代晩期	当館蔵	品川区大森貝塚
土製耳飾	縄文時代晩期	当館蔵	品川区大森貝塚
A 貝塚出土土器	縄文時代晩期	当館蔵	品川区大森貝塚
B 貝塚出土土器	縄文時代後期	当館蔵	品川区大森貝塚
へら状骨器	縄文時代晩期	当館蔵	品川区大森貝塚
貝輪	縄文時代晩期	当館蔵	品川区大森貝塚
貝刃	縄文時代晩期	当館蔵	品川区大森貝塚
土製耳飾	縄文時代晩期	当館蔵	品川区大森貝塚
7. 平成5年(1993)、品川区による第2次確認調査 台地上の住居跡を確認			
■大森貝塚発掘平面図②	平成5年(1993)	文献792より作成	品川区大森貝塚
出土土器	縄文時代後期～晩期	当館蔵	品川区大森貝塚
土製品・骨角器・貝製品	縄文時代後期～晩期	当館蔵	品川区大森貝塚
動物遺存体	縄文時代後期～晩期	当館蔵	品川区大森貝塚
8. 大森貝塚の変遷			
■大森貝塚の変遷図			
■明治10年10月の発掘風景	明治10年(1887)	文献1より	
■昭和16年(1941)殿村平右衛門氏邸	昭和16年(1941)	殿村茂公氏蔵	
■昭和61(1986)遺跡庭園開園	昭和61年(1986)		
■現在の遺跡庭園	平成19年(2007)3月撮影		
Ⅲ 貝塚発掘時代 一考古学揺籃期の東京人類学会と遺物採集家一			
1. 明治期の考古学・人類学の主導者、坪井正五郎			
■坪井正五郎(茨城県立木貝塚)		文献95(斎藤忠氏蔵)より	
■江見水蔭(千葉県園生貝塚)		文献91(斎藤忠氏蔵)より	
■坪井正五郎肖像		斎藤忠氏蔵	
『日本石器時代人民遺物発見 地名表』	明治30年(1897)以降	斎藤忠氏蔵	
西ヶ原貝塚出土土器	縄文時代後期(加曾利B式)	東京大学総合研究博物館蔵	北区西ヶ原貝塚
■「西ヶ原貝塚探究報告」挿図	明治26年(1893)	文献26他より	
■人類学教室前での記念撮影	明治39年(1906)	文献741より	

■目赤不動尊碑	明治 28 年 (1895)	徳源院所在	
太古の遺跡碑拓本	明治 28 年 (1895)	徳源院所在	
守田宝丹奉納の土器付扁額	明治 26 年 (1893)	南谷寺蔵	
コロボックル風俗考	明治 28 年 (1895)	『風俗画報』第 90 号・当館蔵	
最初に発見された弥生式土器	弥生時代後期	東京大学総合研究博物館提供 展示は文京ふるさと歴史館蔵複製品	◎/文京区向ヶ岡貝塚
「帝国大学の隣地に貝塚の痕跡あり」		斎藤忠氏蔵	
■向ヶ丘貝塚より上野忍岡を望む図			
坪井正五郎自筆原稿「日本太古の住民」	昭和 35 年 (1902)	斎藤忠氏蔵	
絶筆となった絵葉書	大正 2 年 (1913)	斎藤忠氏蔵	
坪井正五郎自筆東京人類学会創立第二十二会記念 絵葉書	明治 39 年 (1906)	斎藤忠氏蔵	
坪井正五郎自筆葉書	明治 39 年 (1906)	斎藤忠氏蔵	
坪井正五郎自筆年賀状	明治 41 年 (1908)	斎藤忠氏蔵	
『人類学雑誌』坪井正五郎追悼号	大正 2 年 (1913)	斎藤忠氏蔵	
2. 坪井を継承し東京近郊の考古学を推進、鳥居龍蔵			
■鳥居龍蔵肖像		文献 741 より	
貝塚七ヶ所の記	明治 26 年 (1893)	『鳥居龍蔵全集』(朝日新聞社)より	
■中里貝塚の調査	明治 27 年 (1894)	文献 41 より	
世界貝塚発見史としての大森貝塚	昭和 7 年 (1931)	文献 210	
■北足立郡貝塚村貝塚細断面の図	明治 26 年 (1893)	文献 33 より	
■「遺物包含層」「遺物散列地」の提唱	明治 27 年 (1894)	文献 42 より	
「土中の日本」序	明治 27 年 (1894)	斎藤忠氏蔵	
3. モースに次ぐ東京の貝塚発掘小報、関保之助の延命院貝塚調査			
■関が掘り出した延命院貝塚の土器		文献 18 より	
参考：延命院貝塚出土土器	昭和 62 年 (1987)	荒川ふるさと文化館蔵	□/荒川区延命院貝塚
4. 品川在住の文人、江見水蔭の蛮勇発掘			
■園生貝塚発掘風景	明治 39 年 (1906) 11 月	文献 91 (斎藤忠氏蔵) より	
■江見邸庭に設けられた太古遺物陳列所	明治 39 年 (1906) 頃	文献 91 (斎藤忠氏蔵) より	
■太古遺物陳列所の内部	明治 42 年 (1909) 頃	文献 92 より	
■関東における江見水蔭の足跡と収集品		文献 819 を参考に作成	
■江見水蔭が収集した権現台貝塚出土品	縄文時代後期	京都大学総合博物館蔵	品川区権現台貝塚
■弭形骨器	縄文時代後期	東京国立博物館蔵	品川区権現台貝塚
■「権現台の回顧」挿図	明治 42 年 (1909)	文献 92 より	
■「嶺の千鳥窪」挿図	明治 42 年 (1909)	文献 92 より	
江見水蔭が収集した千鳥窪貝塚出土土器 (複製)	縄文時代後期	大田区立郷土博物館蔵 (原品は東京国立博物館蔵)	大田区千鳥窪貝塚
『地底探検記』	明治 40 年 (1907)	斎藤忠氏蔵	
『探検実記 地中の秘密』	明治 42 年 (1909)	当館蔵	
『考古小説 三千年前』	大正 6 年 (1917)	当館蔵	
江見水蔭書簡	大正 6 年 (1917) 以降	斎藤忠氏蔵	
江見水蔭短冊		斎藤忠氏蔵	
晩年の江見水蔭		『水蔭行脚全集』	
5. 次代への橋渡しを担った、上羽貞幸			
■大正時代の西ヶ原貝塚発掘風景	大正時代	北区飛鳥山博物館蔵	
■加曾利貝塚遠足会	明治 40 年 (1907)	文献 92 より	
IV 東京の貝塚から探る縄文時代			
1 様々な生活道具			
中里貝塚貝層剥取標本	縄文時代中期	北区飛鳥山博物館蔵	北区中里貝塚
西ヶ原貝塚貝層剥取標本	縄文時代後期	北区飛鳥山博物館蔵	北区西ヶ原貝塚
延命院貝塚貝層剥取標本	縄文時代後期	荒川ふるさと文化館蔵	荒川区延命院貝塚
深鉢形土器	縄文時代前期 (開山式)	当館蔵	品川区居木橋遺跡
深鉢形土器	縄文時代前期 (諸磯式)	当館蔵	品川区居木橋遺跡
樽形土器	縄文時代前期 (諸磯式)	当館蔵	品川区居木橋遺跡

深鉢形土器	縄文時代中期 (阿玉台式)	文京ふるさと歴史館蔵	○/文京区動坂遺跡
深鉢形土器	縄文時代中期 (勝坂式)	文京ふるさと歴史館蔵	○/文京区動坂遺跡
深鉢形土器	縄文時代中期 (勝坂式)	文京ふるさと歴史館蔵	○/文京区動坂遺跡
深鉢形土器	縄文時代中期 (加曾利 E 式)	大田区立郷土博物館蔵	大田区千鳥窪貝塚
深鉢形土器	縄文時代中期 (加曾利 E 式)	大田区立郷土博物館蔵	大田区千鳥窪貝塚
深鉢形土器	縄文時代後期 (堀之内 2 式)	立正大学博物館蔵	板橋区赤塚城址貝塚
深鉢形土器	縄文時代後期 (堀之内 2 式)	立正大学博物館蔵	板橋区赤塚城址貝塚
注口形土器	縄文時代後期 (堀之内式)	荒川ふるさと文化館蔵	□/荒川区延命院貝塚
鉢形土器	縄文時代後期 (加曾利 B1 式)	港区立港郷土資料館蔵	□/港区西久保八幡貝塚
深鉢形土器	縄文時代後期 (加曾利 B2 式)	港区立港郷土資料館蔵	□/港区西久保八幡貝塚
鉢形土器	縄文時代後期 (加曾利 B2 式)	港区立港郷土資料館蔵	□/港区西久保八幡貝塚
台付深鉢形土器	縄文時代後期 (安行 3C 式)	立正大学博物館蔵	大田区下沼部貝塚
深鉢形土器	縄文時代後期 (安行 3C 式)	立正大学博物館蔵	大田区下沼部貝塚
浅鉢形土器	縄文時代後期 (安行 3C 式)	立正大学博物館蔵	大田区下沼部貝塚
矢復元品	現代	東京都埋蔵文化財センター	
石鏃	縄文時代前期	当館蔵	品川区居木橋遺跡
牙鏃	縄文時代後期	荒川ふるさと文化館蔵	荒川区延命院貝塚
打製石斧復元品	現代	東京都埋蔵文化財センター	
打製石斧	縄文時代前期	当館蔵	居木橋遺跡
鹿角製斧	縄文時代前期	当館蔵	品川区池田山貝塚
磨製石斧復元品	現代	東京都埋蔵文化財センター	
磨製石斧	縄文時代前期	当館蔵	居木橋遺跡
貝刃	縄文時代前期	当館蔵	居木橋遺跡
搔器	縄文時代前期	当館蔵	居木橋遺跡
石皿・磨石	縄文時代前期	当館蔵	居木橋遺跡
鹿角製鋸先	縄文時代晩期	東京大学総合研究博物館蔵	千代田区旧本丸西貝塚
鹿角製ヤス	縄文時代	東京都教育委員会蔵	北区西ヶ原貝塚
浮子	縄文時代前期	当館蔵	品川区居木橋遺跡
土器片錘	縄文時代中期	北区飛鳥山博物館蔵	北区中里遺跡
石錘	縄文時代中期	北区飛鳥山博物館蔵	北区中里遺跡
土器片錘	縄文時代前期	当館蔵	品川区居木橋遺跡
土錘	縄文時代晩期	東京大学総合研究博物館蔵	千代田区旧本丸西貝塚
鹿角製釣針	縄文時代前期	当館蔵	品川区居木橋遺跡
鹿角製釣針	縄文時代晩期	当館蔵	品川区大森貝塚
丸木舟	縄文時代中期	北区飛鳥山博物館蔵	○/北区中里遺跡
2. 復元、縄文人のファッション			
木製の耳飾	縄文時代後期	北区飛鳥山博物館蔵	北区袋低地貝塚
土製の耳飾	縄文時代晩期	立正大学博物館蔵	大田区下沼部貝塚
球状の耳飾	縄文時代前期	当館蔵	□/品川区居木橋遺跡
貝で作った腕輪	縄文時代後期	荒川ふるさと文化館蔵	荒川区延命院貝塚
翡翠製大珠 (複製品)	縄文時代後期	北区飛鳥山博物館蔵 (原品は東京国立博物館蔵)	北区西ヶ原貝塚
カワシンジュガイ製垂飾 (復元品)	縄文時代後期	北区飛鳥山博物館蔵 (原品は東京国立博物館蔵)	北区西ヶ原貝塚
イノシシ牙製垂飾	縄文時代後期	北区飛鳥山博物館蔵	北区袋低地貝塚
オオヤマネコ牙製垂飾	縄文時代後期	荒川ふるさと文化館蔵	荒川区延命院貝塚
鹿角製垂飾	縄文時代後期	荒川ふるさと文化館蔵	荒川区延命院貝塚
復元・縄文スタイルマネキン	現代	東京都埋蔵文化財センター	
3. 葬送と祀りの場としての貝塚			
人骨	縄文時代中期	北区飛鳥山博物館蔵	北区西ヶ原貝塚
縄文人復元胸像		国立科学博物館蔵	
埋葬されたイヌ	縄文時代後期	大田区立郷土博物館	大田区馬込貝塚
土偶	縄文時代	東京大学総合研究博物館	目黒区東山貝塚
土偶	縄文時代後期	江戸東京たてもの園	板橋区赤塚城址貝塚
土版	縄文時代晩期	立正大学博物館蔵	大田区下沼部貝塚



昆虫形土製品（複製品）	縄文時代晩期	大田区立郷土博物館蔵 (原品は東京国立博物館蔵)	大田区下沼部貝塚
鳥形骨角器	縄文時代中期	大田区立郷土博物館蔵	大田区千鳥窪貝塚
■鳥形骨角器出土状況	昭和 26 年（1951）		大田区千鳥窪貝塚
石剣	縄文時代晩期	立正大学博物館蔵	大田区下沼部貝塚
石棒	縄文時代	北区飛鳥山博物館蔵	北区西ヶ原貝塚
石棒	縄文時代	大田区立郷土博物館蔵	大田区下沼部貝塚
4. 貝層が語る			
中里貝塚貝層剥取標本	縄文時代中期	北区飛鳥山博物館蔵	北区中里貝塚
西ヶ原貝塚貝層剥取標本	縄文時代後期	北区飛鳥山博物館蔵	北区西ヶ原貝塚
延命院貝塚貝層剥取標本	縄文時代後期	荒川ふるさと文化館蔵	荒川区延命院貝塚
■北区西ヶ原貝塚	縄文時代後期	北区教育委員会提供	
■品川区居木橋遺跡	縄文時代前期		
■北区中里遺跡	縄文時代中期	北区教育委員会提供	
■港区伊皿子貝塚	縄文時代後期	港区立港郷土資料館提供	
■奥東京湾の形成略図		文献 727 をもとに作成	
大森貝塚出土の貝や骨	縄文時代後・晩期	当館蔵	
5. 東京の貝塚遺跡（パネル展示）			
■東京の貝塚遺跡		国土地理院発行『数値地図 5 m メッシュ（標高）をもとに作成	
■袋低地遺跡第 2 貝塚	1984 年調査	文献 811 より	北区袋低地貝塚
■木製耳飾出土状況	1983 年調査	文献 811 より	北区袋低地貝塚
■イノシシ牙製垂飾出土状況	1983 年調査	文献 811 より	北区袋低地貝塚
■中里貝塚 A 地点の貝層	1996 年調査	北区教育委員会提供	北区中里貝塚
■同断面の様子	1996 年調査	北区教育委員会提供	北区中里貝塚
■貝の処理遺構	1996 年調査	北区教育委員会提供	北区中里貝塚
■住居内に堆積した貝層	1988 年調査	北区教育委員会提供	北区西ヶ原貝塚
■ヤス出土状況	1995 年調査	文献 810 より	北区西ヶ原貝塚
■西ヶ原貝塚の範囲		文献 811 より	
■延命院貝塚の貝層	1987 年調査	荒川ふるさと文化館提供	荒川区延命院貝塚
■土器の出土状況	1987 年調査	荒川ふるさと文化館提供	荒川区延命院貝塚
■動坂遺跡の現況	2007 年 7 月撮影		文京区動坂遺跡
■動坂遺跡全景	1983 年調査	文京ふるさと歴史館提供	文京区動坂遺跡
■1 号住居内貝塚の調査状況	1983 年調査	文京ふるさと歴史館提供	文京区動坂遺跡
■西久保八幡貝塚の貝層と土器出土状況	1983 年調査	港区立港郷土資料館提供	港区西久保八幡貝塚
■丸山貝塚の貝層	1997 年調査	港区立港郷土資料館提供	港区丸山貝塚
■伊皿子貝塚	1978 年調査	港区立港郷土資料館提供	港区伊皿後貝塚
■伊皿子貝塚の貝層剥取り標本		港区立港郷土資料館蔵	港区伊皿後貝塚
■居木橋遺跡の住居跡と貝層	1989 年調査		品川区居木橋遺跡
■墓坑から出土した玦状耳飾	1993 年調査		品川区居木橋遺跡
■土器と貝層の出土状況	1989 年調査		品川区居木橋遺跡
■馬込貝塚イヌ出土状況	1983 年調査	文献 806 より	大田区馬込貝塚
■雪ヶ谷貝塚の住居と貝層		文献 820 より	大田区雪ヶ谷貝塚
■千鳥窪貝塚の旧状	1951 年頃	文献 602 より	大田区千鳥窪貝塚
■田園調布本町貝塚の断面		大田区教育委員会提供	大田区田園調布本町貝塚
■都立田園調布高校内貝塚		大田区教育委員会提供	大田区田園調布高校内遺跡